

■ 一般目標 (GIO)

歯髓疾患および根尖歯周組織疾患の常態、病因および処置法の基本的な知識を習得する。

歯髓保存療法，歯髓除去療法，感染根管治療の適応，術式，使用する器具・薬剤について理解する。

■ 到達目標 (SBOs)

- ・ 歯髓疾患，根尖歯周組織疾患の主な原因を説明できる。
- ・ 歯髓疾患の分類を説明できる。
- ・ 根尖歯周組織疾患の分類を説明できる。
- ・ 根管治療に用いる器具・薬剤を説明できる。
- ・ 根管充填の意義について説明できる。

■ 教科書：歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学（医歯薬出版）

■ 参考書：エンドドンティクス 第6版（永末書店）

■ 授業時間：火曜日 9：00～9：50，10：00～10：50

■ オフィスアワー：大原 絹代（oohara.kinuyo@nihon-u.ac.jp）

■ 授業の方法：スライドを使用し，適宜プリントを配布する。

■ 準備学習：事前に必ず教科書を読み，授業内容を理解しておくこと。

準備学習時間 各々授業時間相当を充てて予習と復習を行うこと。

■ 成績評価方法：定期試験（100％）を基本とする。

■ 注意事項：講義は教科書を持参すること。

■ 実務経験：大原絹代：日本大学歯学部歯科保存学第Ⅱ講座に所属しており，歯科治療とくに歯内療法領域の経験をもとに，歯科医師の立場から本教科で学ぶ内容の理論がいかに実践に活かされるかについて学ぶ場を提供したいと考えている。

■ 予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1・2回 11月25日 大原 絹代	1. 歯内療法とは 2. 歯内疾患の概要と原因 (教) pp. 118-137	・ 歯内療法学の目的および主な疾患の概要と原因について学ぶ。
第3・4回 12月2日 大原 絹代	1. 歯髓疾患，根尖性歯周組織疾患の分類と症状	・ 歯内療法領域の代表的な疾患の分類，症状および処置方針について学ぶ。

授業日・担当者	講 義 項 目	学 修 目 的・到 達 目 標
	2. 歯髄疾患，根尖歯周組織疾患の処置 (教) pp. 118-132	・ 歯内療法領域の代表的な疾患の分類，症状および処置方針について学ぶ。
第5・6回 12月9日 大原 絹代	1. 歯髄保存療法 (教) pp. 138-147	・ 歯内療法特有の診査法について学ぶ。 ・ 可逆性歯髄炎に対する各治療法について学ぶ。
第7・8回 12月16日 大原 絹代	1. 歯髄除去療法 2. 根管治療 (教) pp. 148-155	・ 不可逆性歯髄炎に対する治療法，とくに抜髄法について学ぶ。 ・ 根管治療における概念，術式および器具，薬剤について学ぶ。
第9・10回 12月23日 大原 絹代	1. 根管充填 2. 根未完成歯の根管処置 (教) pp. 156-190	・ 根管充填の意義について理解し，その術式及び使用器具について学ぶ。 ・ 根未完成歯に対する処置について学ぶ。
第11・12回 1月13日 大原 絹代	1. 外科的歯内療法 2. 歯の外傷 (教) pp. 190-203	・ 通常の根管治療のみでは治癒しない症例に適応となる外科的歯内療法について学ぶ。 ・ 歯の外傷における分類，処置および対処法について学ぶ。
第13・14回 1月20日 大原 絹代	1. 歯内療法における安全対策 2. 歯内療法における歯科衛生士の役割 (教) pp. 204-217	・ 歯内療法学的領域で起こりうる医療事故に対する予防および対処法について学ぶ。 ・ 歯内療法領域において必要とされる歯科衛生士の役割および業務を学ぶ。